

2019年5月17日

各位

会社名 株式会社スペースバリューホールディングス
 代表者名 代表取締役社長 C E O 森岡 直樹
 (東証1部・コード1448)
 問合せ先 執行役員管理本部 I R 広報部長 島田 英樹
 電話番号 03-5439-6070

特別損失の計上及び業績予想の修正に関するお知らせ

当社は、2019年3月期決算におきまして特別損失を計上し、2019年10月1日付公表の業績予想を修正することといたしましたので、下記のとおりお知らせいたします。

記

1. 特別損失の計上について

ホテル開発プロジェクトを含む開発事業案件について事業計画の精査を行った結果、減損の兆候が認められた案件があったことから、将来の回収可能性を保守的に検討した結果、減損損失として2,484百万円を特別損失に計上いたしました。

また、2015年より当社グループ共通の基幹システム（以下、「本システム」）導入に向けてシステム開発を進めてまいりましたが、子会社1社において先行導入した本システムの運用が困難な状況が続いていること、その他グループ会社への本システム開発の進捗が滞っていることから、システム投資戦略を見直すことといたしました。その結果、減損損失として441百万円を特別損失に計上いたしました。

2. 連結業績予想の修正について

(1) 2019年3月期通期連結業績予想数値の修正（2018年4月1日～2019年3月31日）

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	85,000	5,450	5,600	3,700	105.45
今回発表予想 (B)	85,600	4,250	4,350	160	4.50
増減額 (B-A)	600	▲1,200	▲1,250	▲3,540	—
増減率 (%)	0.7	▲22.0	▲22.3	▲95.7	—
(ご参考) 前期実績 (2018年3月期)	76,691	3,979	3,952	2,484	70.91

※ 当社は、2018年10月1日付にて単独株式移転の方法により設立されたため、2018年3月期の実績はありませんが、ご参考として、日成ビルド工業株式会社の2018年3月期の実績を記載しております。

(2) 修正の理由（連結・個別）

売上高は概ね計画通りとなる見込みであるものの、利益面は、主に立体駐車場建設事業における売上総利益計画未達や販管費の増加により営業利益及び経常利益は前回予想数値を下回る見込みであります。また、上記1に加え、第三者委員会等の調査費用324百万円を特別損失に計上した結果、親会社株主に帰属する当期純利益は前回予想数値を下回る見込みであります。

なお、配当予想の修正は行っておりません。

※ 上記の業績予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後様々な要因によって予想数値と異なる可能性があります。

以上